

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス ダンボ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 26日		～ 令和 7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 6日		～ 令和 7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度 (安心、安全の提供)	利用児童が安心して利用につながるよう、児童個々の状況把握に努めている。	継続してリスク管理に努め、安全かつ利用児童、保護者ともに安心して利用できる場であるよう人材育成に努めていきます
2	適切な支援の提供 (活動プログラムの工夫)	季節に合わせた行事の計画、発達段階に応じたプログラムになるよう検討し作成に努めています	継続して発達段階の理解、課題について共有し、支援につなげていきます
3	保護者への説明等	事業に関する事項、計画書など必要に応じて都度説明をしています。活動状況や行事での様子などホームページなど含め、情報発信に努めています	利用開始時の丁寧な説明、利用時の状況などの報告だけでなく、年齢等に応じた適切な情報提供を行います

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	適切な支援の提供 (他機関等との交流、地域の児童と活動する機会の提供)	他機関等との交流の機会の保障は行えなかった。各保育園等とモニタリング会議での情報共有と見学など実施したが、状況を保護者の方へ報告できていなかった	保育園等併用利用の児童が多いこともあり、移行に向けた支援、関係機関との情報共有に努める
2	保護者への説明等 (定期的な面談等の実施)	モニタリング以外にも、親子通園や参観日など企画し、行事以外でゆっくり保護者の方と話す機会を設けていなかった	行事など参加の意向などの確認、参加状況に応じ、保護者へ面談希望などの確認に努めます
3	非常時等の対応	アンケートを受け、法人として緊急時等マニュアルは整備しており、安全計画などの説明会も実施したが、十分な理解につながっていなかった	毎年の説明会の実施、また参加できなかった保護者への書類の配布だけでなく、機会を設け、説明を行います

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもデイサービスダンボ (児童発達支援)						公表日	令和 7年 2月 28日	
						利用児童数	8名		
							回収数 7名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			1	人数に対して十分な広さだと思います。	室内活動だけでなくグラウンドにて戸外活動も実施しており、スペースは確保しています。児童発達支援の設備基準で、児童一人当たりの床面積2.47㎡以上と決められており、ダンボもクリアしています。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1		配置数については、基準以上の人数を配置しています。また、支援に携わる職員は保育士や児童指導員等の有資格者で、他資格(社会福祉士、介護福祉士、知的障がい者陸上コーチ資格、障がい者スポーツ指導員)を有する職員もいます。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				3		玄関前までのスロープと手すりを設置しています。また、室内は活動に合わせて環境を変えられるように広いスペースを確保しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6				1		子ども達の障がい特性に応じて、安心かつ安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				5領域やインクルージョンを踏まえた個別支援計画を作成し、一人ひとりに沿った支援を提供させていただいています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			2		支援プログラムは作成していますが未公表のため、今年度内に公表予定としています。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	7							
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1			1		5領域やインクルージョンを踏まえ、一人ひとりに沿った個別支援計画を作成しています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1					5領域やインクルージョンを踏まえた個別支援計画を作成し、一人ひとりに沿った支援を提供させていただいています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					季節によって行事や活動内容は色々と工夫されている。	活動予定表を立てる際は、職員同士で様々なアイデアを出し合って検討しています。集団や個別での活動、季節を感じられる活動、静と動の活動等、全体のバランスを考えながら作成しています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	1				保育所や認定こども園、幼稚園等との交流機会は今のところありませんが、その他インクルージョンの機会は設けさせていただいています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7								
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7								
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1			2		ペアレント・トレーニングは実施していませんが、ご家族参加型の活動の場(親子遠足や親子ダンボ教室:食育)を設け、保護者からの相談事や悩み等に対応できるよう配慮しています。		
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	1				連絡帳や送迎時に話す機会がある。	電話や連絡帳、日々の送迎時に支援内容やその他必要な情報等を共有させていただいています。		
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1	1				個別での相談事や悩み等については、電話や連絡帳を通じて対応させていただいています。また、必要に応じてモニタリング会議にて助言させていただくこともあります。		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	2		いつも親身になって対応して下さいます。	日常生活を送るために必要な基本動作や知識を学び、学校での集団生活や社会生活にスムーズに入れるよう、子ども達の発達段階に応じて支援させていただきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4		2	きょうだい同士の交流の機会があると、悩み事や、どのように対応しているか相談できるので参加したい。	父母の会や保護者会等はありませんが、ご家族参加型の活動の場（親子遠足や親子ダンボ教室：食育）を設け、保護者同士の交流が図れるよう工夫しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1		1	相談した時は迅速に分かりやすく、その日の内に対応してくれている。	相談や申入れ等があった際は児童発達支援管理責任者へ報告があり、できる限り迅速に回答できるように心掛けています。ご意見は大変ありがたく受け止め、サービス向上に向けて改善していきたいと考えています。今後も忌憚のないご意見をお願いいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5			2		子ども達には視覚的支援を中心に個別での情報伝達を行っています。また、保護者には活動の様子をご理解いただけるよう、連絡帳への活動内容の記載や写真貼付等させていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				1	1年に一度等、決まった期間に写真掲載の確認があると良いと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			2	マニュアルは分かりませんが、防犯訓練等は連絡帳に写真付きで実施が分かるようにしていました。	年度当初の保護者説明会にて安全計画等を周知させていただいています。また、各種訓練については、法人内のマニュアルに沿って定期的実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		1	非常災害時の備えのお話やクッキングが親子参加でありました。	非常災害時の発生に備え、定期的に訓練（避難誘導、防犯、風水害）を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			2		年度当初の保護者説明会にて安全計画等を周知させていただいています。また、子ども達の障がい特性に応じて、安心かつ安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			2		事故等が発生した際は児童発達支援管理責任者へ報告があり、できる限り迅速に対応できるように配慮しています。また、電話や連絡帳、当日の送迎時に状況説明を行い、その後の経過も含めて確認させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7				職員のみなさんがとても優しく子どもの気持ちも大切に考え支援してくれています。	療育を通じて、今後子ども達の最善の利益の保障と健全な育成が図れるよう日々努力して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				一人で難しいことは適切にサポートしてくれるので、楽しく通っています。	ダンボでは様々な活動を通じて、笑顔をご家庭に持って帰ることも大切にしています。今後も安全第一で子ども達に安心して通ってもらえる事業所を目指し、日々努力して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				必要なサポートに困りごとへの対応も親身に相談に乗って下さります。	いつも保護者の皆様に支えられ、職員も感謝しかありません。何かあればすぐに保護者に連絡し、安心して子ども達を預けていただけるよう今後も努力して参ります。これからも『心の安定と成長を促しながら“できた！”の喜びを多く体験できるダンボ』を目指し、保護者の皆様と連携を図っていけたらと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもデイサービスダンボ (児童発達支援)		公表日 令和 7年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		時折、人数の関係で応援を呼ぶことができる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	子どもに分かりやすくカバン置き場に写真を貼っていたり、手洗い場でも台を置いたり工夫していると思います。 ・収納等少ないが、児童にとって分かりやすく工夫していると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・清潔で過ごしやすい環境が整備されていると思う。 ・掃除が行き届いていると思う。 ・日々の掃除等合わせ、その日の内に対応している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		送迎の際に意見を把握できていると思います。また、保育園の方にも関係職員と情報共有できていると思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・部度、話せる環境である。 ・月1回のバンビ・ダンボ会議等を通じ、業務改善が行われていると思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		第三者評価は未実施。今後検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		法人内の部会や県内、県外の研修会等、たくさん場を設けていただいていると思います。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	3	5領域に対応した内容で取り組んでいる。	・支援プログラムは作成 (R7年公表予定)。 ・作成され、R7.3月末までに公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		活動予定表のスケジュール等、週替わりで考えてまとめる等、固定化しないようにできている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		活動予定表のスケジュール等、週替わりで考えてまとめる等、固定化しないようにできている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		送迎前のミーティング等で連携して支援できていると感じます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		全体ではないが、職員間で話し合い共有することができていると思う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		送迎の際等、情報交換ができています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	6	実際、現段階では実施していないが、いつでも連絡できる体制と関係性は持っている。	市内の児童発達支援センターは中核的機能をまだ果たしておらず、スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けていない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	8		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	・ペアレント・トレーニング等の支援プログラムは児童発達支援センターの役割であり、情報提供のみ。 ・ダンボではないが、センターで行っている。ペアプロの案内はしている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・連絡ノートに記入していただいたり、電話等で相談に応じている。 ・送迎時等、意見等を聞くことも多く、適切に対応できていると思う。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3	・保護者会はないが、保護者説明会や運動会、食育等の行事で保護者同士交流している。 ・父母会等はないが、親子遠足や食育等活用し、保護者同士で交流する機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	地域住民とはないが、就労継続支援B型のご利用者と一緒に芋植え等を行い、交流の場は設けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		服薬依頼書と服薬マニュアルに基づいて薬の取扱いをしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		現在、アレルギー対応児童不在だが、食育等は事前にアレルギー確認をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10				